

「松戸市子どもの読書活動推進計画(案)」パブリックコメント(意見募集)手続きの実施結果

- 1.意見募集期間 令和2年1月7日(火)～令和2年2月5日(水)
- 2.意見提出者数 2名
- 3.意見件数 6件
- 4.意見趣旨及び市の考え方 下記のとおり
- 5.修正箇所 なし

No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
1	5	松戸市における取組み	ブックスタートの事業自体は有効に機能していて、利用者からもきつと好評と思います。本のチョイスの際にバリエーションを持たせたりすることも重要と考えます。引き続きよろしく願います。	親子のふれあいの仲立ちとなり、より多くの家庭で絵本に親しむきっかけとなるよう引き続き普及啓発に努めてまいります。絵本につきましても、アンケートの意見等を考慮して選定してまいります。	なし
2	19	乳幼児の時期	家庭での取組みについては、やっている家庭は既にやっているの、読書習慣を形成する取組みとしてはあまり改善が期待できないので、各施設や、その他で新たな取組みが必要と思う。■ブックシェアの仕組みが欲しい(1)無人図書館・本棚(根津にあったメトロ文庫のような、不要な本を持ち寄り、持って帰ってもよい)(2)学校の図書館などでも本のリサイクル本棚を置く(3)学校やイベントなどで不要な本をPTAを介して集め、授業の中でひとり1～2冊を選んで持って帰ってもらう(4)市役所や図書館などの拠点で、不要になった図書を(期間限定でも可)回収し、市のイベントや、読書週間などで無料(もしくは1冊10円など→点字や外国語の図書を買う費用に充てるなど)でもらえる場を作る(いろんなイベントでいつもの無料本屋さんがあれば、認知度も上がり、子育てしている親世代も、子どもたちも喜ぶと思う)貧困家庭などの子にも、気軽に本に親しんでもらえるのではないかと。リストやチラシを作って配布するよりも(興味のない子はそもそも読まないの)、不要になった本を気軽に無料で手に入れられるような仕組みを作ってほしい。	家庭への子どもの読書習慣の形成や読書の意義の普及啓発は、これまで読書活動に取り組んでいなかった家庭への働きかけが重要であると考えます。よって現在行っているブックスタート事業や健診での働きかけに加え、市役所内や各施設との連携を行うなどして、より多くの家庭に働きかけを行ってまいります。また市立図書館における不要本の配布につきましても、現在場所の関係等から本館のみで行っておりますが、今後は本館以外の場所での実施も検討してまいります。	なし
3	19	乳幼児の時期(今後の主な取組み)	■図書館利用のハードルを下げる仕組みが欲しい松戸は各地域が広く、図書館が少ない。いずれも古く魅力的でない。リラックスして本を読めるスペース(ソファなど)がほとんどない。せめて中央図書館は市民が誇れるものに建て替えてほしいが、まずは機能だけでも。各駅近くの空き家・テナントなどを活用して図書館活用拠点とする。同時に、お年寄りや子供などが安心して過ごせる憩いの場所にしてほしい。機能としてほしいのは、以下の(1)～(3)。空き家等の拠点整備が難しいのであれば、(1)返却ポストだけでもなんとか整備してほしい。松戸駅や、図書館の遠い駅から試験的に導入するのはどうか。(1)返却ポスト(駅付近にあると、返却しやすい。延滞を防ぐことができる。気軽に借りられる。)(2)取り寄せ窓口(インターネット予約した本を取り寄せて借りることができる窓口)(3)検索・予約端末既存の図書館のように蔵書をたくさん置く必要はなく、「今日、借りに行く時間はあるけど、返しに行けるかわからない」人や、「借りたい本はあるけど、気軽に行ける場所に図書館がないから利用しない」人の、図書館利用へのハードルを下げてほしい。	これからの図書館に求められている機能として、従来の本の貸し出し中心のサービスだけでなく、情報提供・課題解決・地域交流等が重要であると認識しております。現在本市でも、様々な人が集まり、コミュニティと学びの交流拠点となる施設の整備を進めており、これからは松戸市の強みである、市民の身近にある図書館を充実させつつ、魅力のある図書館を整備してまいります。また、より多くの方に図書館をご利用いただけるよう、主要駅周辺等への返却ポスト設置についても検討してまいります。	なし
4	21	乳幼児の時期	拡大することには賛成です。どこの図書館でも通帳の印字ができるようにしてほしい。加えて、これまで借りた履歴がインターネット上で見られるといい。(印字できないこともあるので)「これまでに何冊読んだ」「今年は●冊を目標に」など子どもとの話題にできる。	読書通帳機につきましては、設置場所を増やしてほしいとの要望を数多くいただいておりますので、予算や施設の設置スペース等を鑑みながら、順次拡大してまいります。また個人の過去の貸出履歴につきましては、個人情報保護の観点から保有しない運用としておりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。	なし
5	23	小学生の時期(今後の主な取組み)	小学生の時期に新入学のお祝いとともに図書館利用カードを発行してみてもよいのではないかと。また、居場所としての機能として学校から帰宅途中でも図書館によってもいい。というような考え方を作っていくことが地域でも必要と考えます。	小学校の入学時に図書館の利用を促すことは重要な機会ですので、まずはモデル的に実施した新1年生への図書館利用カード配布結果や学校現場の課題等の分析を行い、効果的な方法を検討してまいります。また、児童の安全を確保した中で、地域の居場所として機能するよう、今後も関係機関と情報共有を図ってまいります。	なし
6	33	中高生の時期(今後の主な取組み)	中学生には朝読書の書籍を司書さんチョイスで貸し出してほしい。中には本を購入出来ない子どもさんも必ずいるはず。YAコーナーはネーミングが時代にあいません。「teen's need book」とか、それこそ子どもたちに聞いた方がいいです。teens booksでもシンプルで伝わるとおもいます。またライトノベルをもっとおくといいです。中高生の居場所として本を読む以外にもWiFiがあればその空間にいたいと思えるようになります。子どもの背景理解をおねがいします。船橋の東図書館はライトノベルが多くて中高生に人気だそうです。	学校においては、校長の判断のもと司書教諭や図書館担当者が中心となって学校図書館専門員・支援員と協働して、児童生徒の興味関心に合った資料の選定や周知等を工夫して行っています。図書館においても、学校図書館を支援する読書用の資料の貸出を行っており、引き続き魅力的な資料選定を心がけてまいります。また中高生向けの資料選定や環境整備、コーナーのネーミングについても、利用者の目線に立ち取り組んでまいります	なし